

本市場大淵線（大淵工区）整備事業

事業の必要性及び効果

本路線は、新東名高速道路へのアクセス道路である（主）一色久沢線と中心市街地を結ぶ道路であるとともに、富士市の南北交通における重要幹線道路です。

本路線と並行している（主）富士白糸滝公園線は、緊急輸送路（1次路線）に指定されているものの道路幅員が狭いため、災害時には電柱等の倒壊により交通機能が麻痺してしまう可能性があります。また、周辺道路は幅員が狭いため、代替輸送路になれません。また、本路線北部は、工業地域のため通勤車両による交通渋滞を避けるための迂回路として、多くの車両が通過しているものの、幅員が狭いうえ歩道もなく、周辺の小中学校へ通学する歩行者と車両が混在し、大変危険な状態になっています。

本路線を緊急輸送路の基幹道路のひとつとするとともに、歩行者と車両を分離した歩道整備をすることで、歩行者の安全確保を図ります。

